

番組審議会

第623回

開催日 平成31年1月21日(月)

■委員の出席

委員総数 10名

出席委員数 9名

出席者

委員長 音 好 宏

副委員長 中 江 有 里

委 員 石 田 衣 良 尾 縣 貢

萱 野 稔 人 喜 田 村 洋 一

佐 藤 智 恵 水 無 田 気 流

田 渕 久 美 子 (レポ-ト提出)

(藤 原 帰 一 委員欠席)

TBSテレビ 佐々木 社 長

國 分 常務取締役

伊佐野 取締役

合 田 編成局長

本 田 報道局長

田 代 スポーツ局長

菊 野 スポーツ局スポーツ番組制作部長

後 藤 プロデューサー

藤 田 編成考査局長

鈴 木 編成考査局視聴者サービス部長

岩 村 番組審議会事務局長

■議事概要

(1) 審議事項

1) 「プロ野球戦力外通告 クビを宣告された男達」

12月30日放送分について

2) その他

(2) 報告事項

1) 12月2日放送の「消えた天才」について

2) 「水曜日のダウンタウン」に関連して行った「としまえん」でのイベントについて

(3) 事務局報告事項

1) 視聴者からの声について

2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な発言】（「プロ野球戦力外通告 クビを宣告された男達」について）

- 今は企業でも、50代での退職勧奨などがあり、いわば戦力外通告を受ける人がふえている。日本企業ではクビになったら終わりだと思ってしまいがちだが、彼らを見ていると、クビになっても何とかなる、次の人生があるというのがすごくわかり、この番組で勇気もらった人がたくさんいるのではないかな。
- 少し予定調和になりつつあるように感じた。夢を諦めない少年のような元プロ野球選手と、それを支える良妻賢母で献身的な美人妻ばかり。この組み合わせは確かに鉄板だが、女性から見ると、ステレオタイプ過ぎないかと思う。「こんなに安い給料じゃ別れます」と言う女性がいてもいいと思うし、いろんな妻のパターンがあっても面白いのではないかな。
- プロ野球の世界は、どうしてもトップ選手の活躍ばかりが目立っていて、いかに努力を重ねても、そこまで達成できなかった人間がいるということがなかなか見えにくい。そこに焦点を当てることで、その世界の厳しさを浮かび上

がらせる手法は、非常に説得力がある。

- 妻や子どもや婚約者の存在を表に出した構成が心にしみた。好きな野球だが、1人で生きているわけではなく、守るべきものがあるという葛藤がよく伝わった。
- 人生100年時代と言われるようになり、セカンドキャリアは多くの人にとって切実な問題になってきている。戦力外通告の後のセカンドキャリアをどうするのかというこの問いは、普遍的なテーマになり得るのではないか。
- 意外とフラットで、少し単眼だと感じた。プロ野球選手には退職金がないことや年金のこと、そして再就職に対する大きい壁など、選手をめぐる構造的な問題をもう少し紹介するとよかったのではないか。そのあたりに触れると、野球の世界を離れて別な世界で生きていくつらさ、切なさ、厳しさが、もっと浮き彫りになったと思う。
- 家庭の中にまでカメラが入り、ディテールを丁寧に取材しているのが効果的だった。電話を待つときの3人の表情などは、俳優がやったのでは絶対に撮れない、引きつけられる強さがあり、本当に息をのむものがあった。こうしたものが撮れたのも、撮影スタッフが本人や家族の信頼を得ているからこそだと思う。

(以上文中：敬称略)

- * TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (TBSテレビ番組審議会事務局)